



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



## “わが社の安全マインドづくり”

猛暑が続く 8月6日(木)、三島地区協会平成27年度安全運転管理推進事業所の

**「横浜ゴム株式会社三島工場」** (三島市)

にお邪魔しました。



会社正門から入った正面に掲げられた「推進事業所横断幕」

今回の取材には、三島地区協会の矢岸会長と佐野事務局長に同行していただきました。

事業所側からは、富岡 聖工場長をはじめ、大森貴司夫業務課長・川原章寛課長補佐(安全運転管理者)・渡邊幸司課長補佐・池田 悟係長の5名が対応してくださり、安全意識の高さを窺い知ることができました。

一日四万本ものタイヤを生産しているという企業概要説明と本年度の推進事業所活動については大森課長から詳細な説明をしていただきました。



## 【現在までの主な活動】

- 4月
  - 「安全運転管理推進事業所指定証」 交付式に出席
  - 安全運転推進リーダー(若手社員 20名)を選出
  - 「交通安全友の会」(幹部社員 19名で構成)開催(4月・6月・7月)  
年間行事の策定と改正道交法の周知
  - 交通KYマップの作成掲示  
3カ月ごとに更新
- 5月
  - 連休前の「交通安全署名活動」の実施
  - 駐車場・守衛所前における交通安全啓蒙活動(「交通安全友の会」)
- 6月
  - K-mix 主催 セーフティチャレンジラリー150への参加募集
- 7月
  - 自転車通勤者・外部通行車両への啓蒙活動(3日間)
  - 社用車へのドライブレコーダー装着
  - ドライブシミュレーター(交通安全体験車)による体験型講習  
「交通安全推進リーダー」が参加
  - 三島地区安全運転管理協会主催「セーフティードライバーコンテスト」に会社  
チームとして4名の社員が参加
  - 工場内セーフティードライバーチャレンジ(7月から翌年3月まで)
- 8月
  - 夏季休暇前の交通安全啓蒙活動(3日間)



### 取材状況

また、富岡工場長からは、タイヤメーカーの立場から

**「月に一度はタイヤ空気圧の点検を行って下さい。ガソリンスタンドでの給油時に実施するのが良い方法です。空気圧点検は、安全走行の基本です。」**

と“車を使用する人の安全意識の高揚”を願う言葉とともに、企業の交通安全活動の基本として

**「活動の柱は危険予知です。当事業所では“かもしれない運転 20 か条”と始業前朝礼時の“KYT”により意識向上を図っています。」**

**事故を起こさないドライバーを作るためには、どれだけ危険場面を想定できるかが重要なことだと考えています。」**

とのお話をいただきました。



### 詳細記事は「安全運転管理しずおか」10月号 に掲載

今回の取材でお聞きした安全運転管理の諸対策・諸活動の詳細につきましては、機関誌「安全運転管理しずおか」10月号の誌面にて掲載する予定でありますのでお待ち下さい。